

「補助金活用リース」 を使って 給湯と空調を更新

補助金の申請を
サポートします!

—活用事例—
建築物
省エネ改修等
推進事業

導入の
メリット

- 1 国土交通省の省エネ補助金制度を活用して**イニシャルコストを低減!!**
- 2 ボイラーからの更新でメンテナンス費用を削減し**高COPでランニングコストも抑制!**

株式会社
横浜フリエスポーツクラブ 様



割安な夜間電力で
コスト削減



ISO14001認証をもつ
Jリーグクラブが選んだ!



お客様の声

横浜FCのチームカラーに合った
省エネ改修ができました。

株式会社 横浜フリエスポーツクラブ
会長 奥寺 康彦 様

環境活動は「環境行動都市」である横浜市をホームタウンとする当クラブのチームカラーのひとつです。2008年3月にJリーグクラブで初めてISO14001認証を取得。以来、地域のゴミ拾いや「カーボンオフセット」を実施するなど、選手・スタッフ・サポーター・エコパートナー企業が丸となって、さまざまな環境活動の実施、啓蒙を行ってきました。

クラブハウス内でも夏場はエアコンの温度設定を28℃にしたり、照明をLEDに変更したりと、CO₂やコスト削減に努めています。今回の給湯・空調設備の更新もその一つ。選手たちの練習環境を整え、省エネもでき、補助金も受けられる業務用エコキュートは、まさに当クラブのチームカラーに合った1台と言えます。

提案者の声

リース・補助金の活用により、初期投資をかけずに
高効率機を提案することができました。

株式会社Sansei
工事管理部 新川 重由紀 様

横浜FC様とは、スポンサー活動を通じてお付き合いをさせていただいています。今回の提案ポイントは2つ。①三菱電機の業務用エコキュート「サニーバックQ」がもつ抜群の省エネ性能を活かすこと、②リース契約と国土交通省の「建築物省エネ改修等推進事業」補助金制度を利用すること。

これにより環境にやさしい製品を初期導入費“0円”、かつ既存設備の運用コストと大差なく使用できることを評価していただきました。横浜FC様とは今後とも環境活動とサッカーを通じ、地域貢献に寄与していきたいと考えています。